

エコアクション21

環境活動レポート

2023年度 運用期間
(2023年4月～2024年3月)



令和5年度「第35-K4414-01号」一級河川黄瀬川（神山工区）
緊急自然災害防止対策工事（護岸工）（11-01）

山幸建設株式会社

作成日：2024年10月1日

目 次

1. 会社概要
2. 実施体制
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 運用期間実績及び評価と見直し
7. 環境関連法規制遵守及び確認
8. 環境上の緊急対策
9. 代表者による評価
10. 取組状況
11. 問い合わせ・苦情 受付票

1 会 社 概 要

1. 会社名 山 幸 建 設 株 式 会 社

所在地

〒4 1 2 - 0 0 3 9

静岡県御殿場市竈 2 2 0

TEL 0 5 5 0 - 8 2 - 1 9 4 2

FAX 0 5 5 0 - 8 3 - 1 7 6 0

E-mail yamako@ia8itkeeper.ne.jp

資財置場住所 静岡県御殿場市竈 6 9 8 - 4

静岡県御殿場市御殿場 5 9 7

2. 代表者氏名 代表取締役 山崎 万規子

3. 建設業許可

特定建設業・一般建設業（土木、舗装、解体、とび土工、管）

静岡県知事許可 （特・搬－03）第1836号

産業廃棄物収集運搬 第02201144164号

下水道排水設備工事店 御殿場市 第 1 5 号

4. 事業の規模

① 設立 昭和 3 6 年 1 月 1 4 日

② 資本金 2, 0 0 0 万円

③事業年度 4 月 1 日 ～ 翌年 3 月 3 1 日

④事業規模

活動規模	単位	2 0 2 0 年度	2 0 2 1 年度	2 0 2 2 年度	2 0 2 3 年度
売上高	百万円	134	50	231	154
従業員	人	8	8	8	8
床面積	m ²	46	46	46	46

5. 環境管理責任者氏名及び担当者

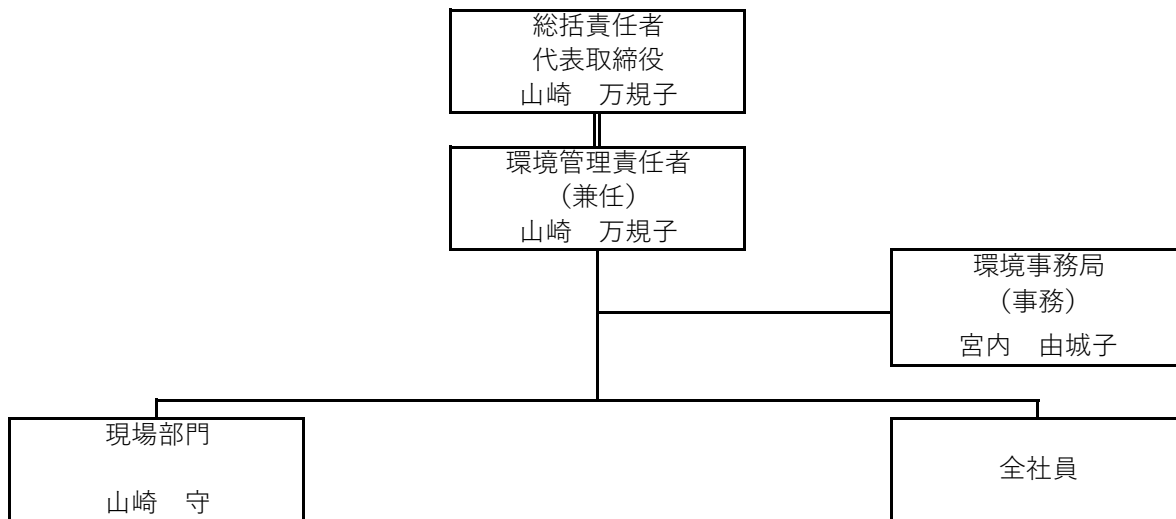
環境管責任者 山崎 万規子

担当者 宮内 由城子

6. 登録範囲

全活動・全組織

2 実施体制



担 当	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
経営責任者 (山崎 万規子)	・ エコアクション21に関する代表責任 ・ 環境方針の作成と社員への周知 ・ 全体の評価と見直し ・ 実施体制の構築
環境管理責任者 (山崎 万規子)	・ 管理経営活動の推進 ・ 環境目標及び環境計画の作成 ・ 環境経営推進会議の実施 ・ 環境事務局の文章作成案に対するチェック及び改訂の指示
環境事務局 (宮内 由城子)	・ 各部門のデータのまとめ ・ 活動計画の実績管理 ・ 環境負荷・環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境管理責任者補佐 ・ 法規制最新版管理 ・ 文書・記録の管理
現場部門 (山崎 守)	・ 環境計画の実施 ・ 月別データの集計 ・ 問題点の把握及び予防処置の実施 ・ 従業員教育
全社員	・ 環境方針の確認、理解 ・ 各個人における環境マネジメントシステムの実施

3 環 境 方 針

《企 業 理 念》

山幸建設株式会社は、建設工事の事業活動を通じ、地球環境を保全するため常に環境に配慮した事業活動の順守及び、汚染を予防し、積極的に取り組む企業を目指します。

《環 境 指 針》

1. 事業活動が環境に与える影響を配慮し環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ・アイドリングストップを実施しCO₂の削減に努めます。
 - ・廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
 - ・水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ・地域貢献活動への参加に積極的に取り組みます。
 - ・施工現場は騒音、振動の抑制など近隣住民への配慮に努めます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認、評価し環境管理システムを継続的に改善します。
3. 環境関連法規制及び法定を遵守いたします。
4. 全社員が環境方針を理解し、環境保護、環境保全を常に意識し、教育、訓練を通じて環境問題への意識向上を図ります。

制定年月 2017年8月31日

山幸建設株式会社

代表取締役 山崎 万規子

4 環 境 目 標

・運用期間(2023年4月～2024年3月)の環境目標

項 目		単 位	基準期間	運用期間	
			2019年度	2023年度	
			基準値	目標値	目標削減率
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	46,992	45,582	-3%
	電力消費量	kw h	15,826	15,351	-3%
	ガソリン使用量	ℓ	3,393	3,291	-3%
	軽油使用量	ℓ	11,734	11,381	-3%
	灯油使用量	ℓ	616	597	-3%
上水使用量		m ³	8.0	10以下	現状維持
産業混合廃棄物		t	2.0	2以下	現状維持
一般廃棄物量		t	1.520	1.4744	-3%
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	99.6	90%以上	現状維持
	環境配慮工事の提案	件	10	10	現状維持

・短期・中期の環境目標

項 目		単 位	基準年度	目標年度		
			2019年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	46992	-2%	-3%	-3%
	購入電力	kw h	15826	-2%	-3%	-3%
	ガソリン使用量	ℓ	3393	-2%	-3%	-3%
	軽油使用量	ℓ	11734	-2%	-3%	-3%
	灯油使用量	ℓ	616	-2%	-3%	-3%
上水使用量		m ³	8	10以下	10以下	10以下
産業混合廃棄物		t	2	2以下	2以下	2以下
一般廃棄物量		t	1.52	-2%	-3%	-3%
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	99.6	90%以上	90%以上	90%以上
	環境配慮工事の提案	件	10	10以上	10以上	10以上

(2019年度基準値とは、2019年4月1日～2020年3月31日迄の実績値)

・「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(2019年度)の調整後排出係数「0.462kg-CO₂/kWh」を使用した。

※ 上水は、使用量が少ないため10m³以下の目標とした。

※ 産業廃棄物の目標は、混合廃棄物以外は、100%のため混廃2t以下の目標とした。

※ 地域貢献活動は目標を設定せず活動のみとする。

5 環境活動計画

2023年4月～2024年3月

項 目	担 当	実 施 事 項	実施状況	次年度の 取組
CO2削減 電気使用量の削減 ガソリン、軽油使用量の 削減	宮内 由城子	消灯の徹底	○	継続
		LED証明の検討	○	
		不要時OA機器の電源OFF	○	
		フィルター月1回清掃	○	
		事務所入り口網戸設置	○	
	全員	クールビズ、ウォームビズ	○	継続
		夏季→個別スリムファンの併用	○	
	山崎 守	アイドリングストップ	○	継続
		エコドライブ	○	
		日常・定期点検の実施	○	
		過積載の禁止	○	
廃棄物削減	山崎 万規子	コピー用紙の両面使用	○	継続
		ミスプリント防止とメモ用紙の活用	○	
		FAXの使用を抑制し、メールを増やす	○	
		使い捨て製品の抑制	○	
		廃棄物の分別を徹底	○	
水道使用量の削減	宮内 由城子	水道管からの漏水を月1回、点検	○	継続
リサイクル推進	宮内 由城子	段ボール、雑誌等のリサイクル	○	継続
		ペットボトル、ビン、缶のリサイクル	○	
		間伐材使用のバリケードの購入	○	
環境配慮工事の提案	全社員	グリーン購入（何回も使える物購入）	○	継続
地域貢献活動	全社員	ゴミ拾い	○	継続
		カーブミラー清掃	○	

6 運用期間実績 及び 評価

・運用期間(2023年4月～2024年3月)の環境目標

項 目		単 位	基準期間	運 用 期 間				
			2019年4月 ～ 2020年3月	2023年4月～2024年3月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	5,134	-3%	4,672	-26	3,788.45	○
内訳	電力消費量	kw h	4,186	-3%	3,809	-11	3,737	○
	ガソリン使用量	ℓ	873	-3%	795	-22	683	○
	灯油使用量	ℓ	518	-3%	471	-63.0	192	○
二酸化炭素排出量(建設現場)		kg-CO ₂	41,858	-3%	38,091	-63	15,399	○
内訳	電力	kw h	11,640	-3%	0	-92	960	○
	ガソリン	ℓ	2,520	-3%	2,293	-28	1,825	○
	灯油	ℓ	98	-3%	89	-45	54	○
	軽油	ℓ	11,734	-3%	10,678	-65	4,103	○
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	1.52	-3%	1.38	30	1.98	×
	産業混合廃棄物排出量	t	2		2以下		0.676	○
水道使用量の削減		m ³	8.0		10以下		8.0	○
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	99.6		90以上		100%	○
	環境配慮工事の提案	件	10		10以上		14	○
二酸化炭素排出量合計				19,187				

< 評 価 >

一般廃棄物排出量	原因	図面、設計書の整理を行った為、紙資源ゴミが増加。
	是正	定期的(年2回)に書類の分別排出をする。

・次年度の環境経営目標

変更なし

7 環境関連法規の遵守状況

・遵守評価

遵守評価の結果逸脱はありませんでした。

2024/10/1

法規・条例・規制	規制詳細	規制の適用	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物収収集・運搬及び処分業者との委託契約（法第12条第3項）	契約（書）の締結	○
	マニフェストの交付義務・記載義務及び虚偽記載の禁止 マニフェスト交付状況の届け出	マニフェストの適正な作成 届け出	○
	産業廃棄物の収集運搬業の許可（法第14条第1項）	県知事の許可	○
	産業廃棄物処理基準の順守（法第14条第12項）	産業廃棄物収集運搬業者	○
	投棄禁止（法第16条）	不法投棄を行わない	○
	産業廃棄物管理責任者の設置 処分業者の実地確認	設置済み 確認	○
排出ガス対策型建設機械の普及に関する規定	対象工事が公共工事の場合（法第14条第1項）	御殿場市への届出及び作業日・規制時間の厳守	○
騒音・振動規制法（特定工事）	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定		○
道路法 道路交通法 道路運搬車両法	道路の保全、法定速度の遵守（法第22条） 法定点検・整備・積載基準の遵守（法第24条）	事業者の義務として、関係官庁への申請・点検確認	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音・振動にかかわる上乗せ条例		○
水道法	指定給水装置工事事業者の指定（法第25条の2）	給水装置工事主任技術者	○
下水道法	設計者等の資格（法第22条）	技術士、第一種技術検定等	○
環境基準法	一般的な自主努力（法第5条）	事業者の一般的責務	○
グリーン購入法	環境物品の購入（法第5条）	事業者の一般的責務	○
省エネ法	エネルギー使用の合理推進（法第4条）	電気使用量の削減活動	○
御殿場市一般廃棄物に関する条例	一般廃棄物の分別排出	分別して指定日に指定場所へ排出	○
フロン排出抑制法	点検及び破棄時指定業者へ引き渡し	重機エアコンの点検	○
建設業法	建設業の許可と更新（法第3条）	許可と5年毎の更新	○

・環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規及び条例への違反はありませんでした。

また、地域住民からの苦情、関係機関よりの違反等の指摘もありませんでした。

利害関係者等の訴訟は、過去3年間ありませんでした。

8 環 境 上 の 緊 急 対 策

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。又、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定される緊急事態	原因	対応策
(1) 重機給油時、軽油の漏洩	給油ミスによるノズルの外れ	・ 応急的に砂をまく ・ 吸着マットの設置 ・ 土嚢の設置
(2) 異常気象、地震対応	工事現場での大雨や地震による災害	・ 作業員の安全確保 ・ 避難場所への避難 ・ 重機等を安全な場所に移動

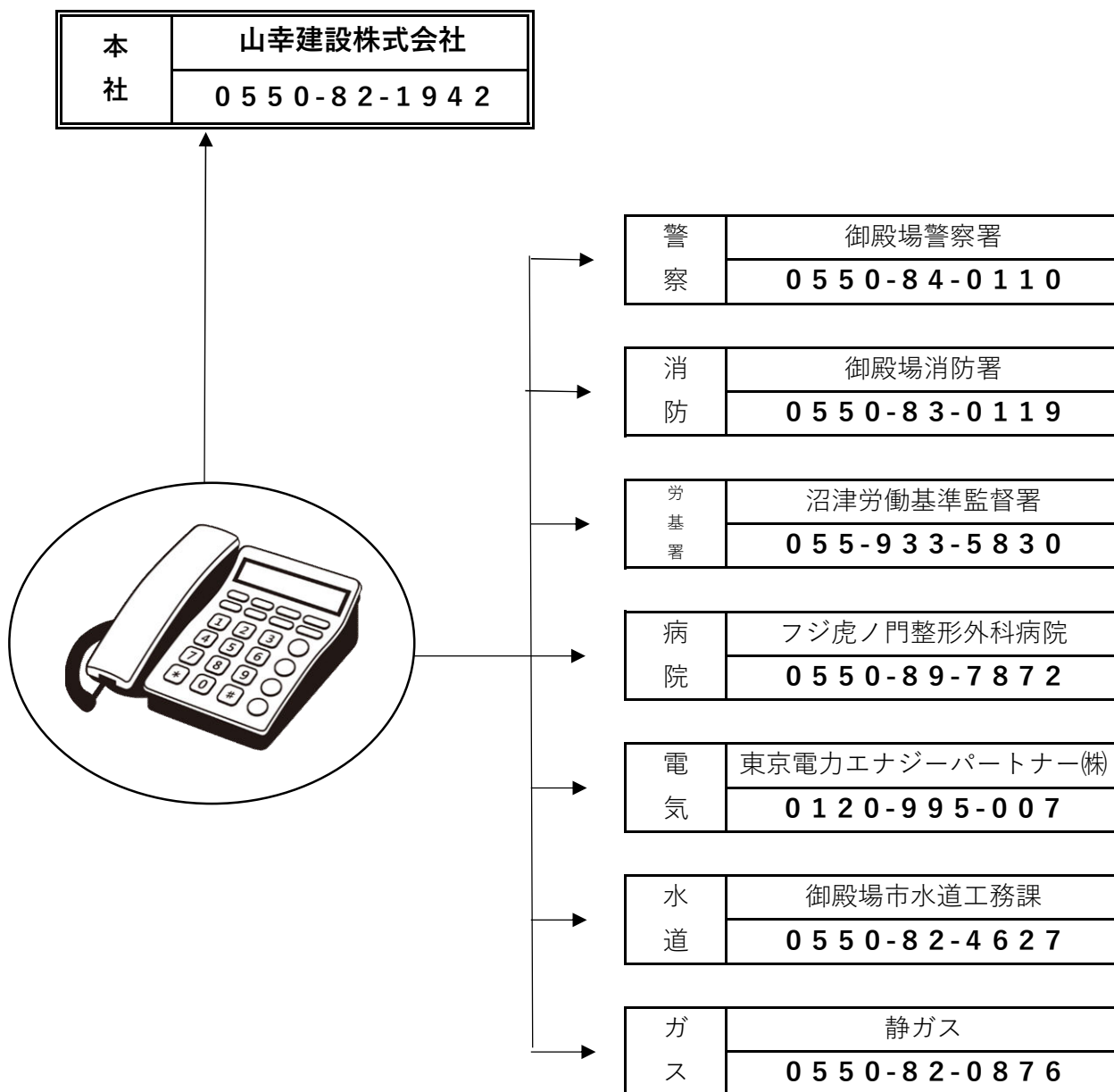
訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対応策
2024.09.01	(1)重機給油時、軽油の漏洩 (2)異常気象、地震対応	給油ミスによる ノズルの外れ 地震や異常気象における災害	・ 緊急時の対応手順の確認 ・ 緊急地震情報を聞き安全な場所に移動 ・ 建設現場緊急避難先の確認
参加者		全社員	
※評価と改善策			
・ 毎年実施しているが、土嚢設置方法の確認、対応手順、各自の役割分担を確認した。			
・ 現地点での対応は、ほぼ問題なく実施できた。			
・ 建設現場緊急避難先や、移動方法・手順の確認ができた。			
・ 緊急事態の発生時に、訓練の成果が発揮できるように習慣化していきます。			

《緊急時の体制及び対応》

緊急時の連絡系統図

作業現場等の災害や事故発生時における、連絡系統及び夜間又は休日の連絡方法は、下記の通りとする。



9 代 表 者 に よ る 評 価

作成 2024年 10月1日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目		△
	1	エコアクション21文章	☒ 記録・文書として作成
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒
	3	環境経営計画及び取り込み実施状況	☒ 継続して取り組む
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に掲載
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特に問題なし
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他外部 動向	☒
	8	その他（ ）	☐

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	省エネ重機の導入や燃費効率の良い暖房器具を使用し、二酸化炭素は、大幅に削減された。 事務所の図面や設計書の整理を行ったため、紙資源ゴミが増加した。 環境に配慮した取組みを継続し、二酸化炭素量排出量の削減に努めたいと思います。		
	2024年 10月 1日 山幸建設株式会社 代表取締役 山崎 万規子		
	見直し項目		変更の 必要性
			「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ ☒ 無
	2	環境経営目標	有・ ☒ 無
	3	環境経営計画	有・ ☒ 無
	4	環境に関する組織（実施体制含め）	有・ ☒ 無
	5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無
	6	その他（外部への対応）	有・ ☒ 無

《地域貢献への取り組み状況》 （自社実施）



マンホール蓋交換工事
（日中の交通量が多い為夜間工事を実施）



夜間工事警備誘導



M.H.内部のコンクリート破り時、コンクリートの欠片が周囲に飛散しないよう、折り畳み式携帯用飛散防止ネットを設置した。
これにより、施工箇所近くを通行する車両を保護することができ、住民からの苦情を未然に防ぐことができた。

11 問い合わせ・苦情 受付票

1. 問合せ・苦情をされたい方の基本情報

フリガナ		
氏名 (事業所名)		
住所		
連絡先	自宅	
	勤務先	
	携帯	

2. 内容

分類	1. 問合せ	2. 苦情	3. 業務	4. その他
内容				
原因				

3. 事務処理

受付年月日	令和 年 月 日
受付担当者	
対応内容	
対応完了年月日	令和 年 月 日
対応担当者	
備考	

2023年4月1日～2024年3月31日 苦情および問い合わせ等は、ありませんでした。